

公益社団法人 姫路青年会議所  
2023年度 理事長立候補届

2022年 6月30日

有川 勝紀

提出書類

- |                  |     |
|------------------|-----|
| 1. 氏名、J Cにおける経歴書 | 1 葉 |
| 2. 2023年度理事長所信   | 3 葉 |

## 氏名、J Cにおける経歴書

氏名 有川 勝紀 (ありかわ かつとし)

### 【J Cにおける経歴】

2014年	入会 研修特別委員会 希望に満ちた国際都市姫路推進委員会	委員 委員
2015年	総務委員会 (日本) 国際会議支援委員会	幹事 幹事
2016年	未来ビジョン創造委員会	副委員長
2017年	チャレンジする市民主体のまち創造委員会 (日本) APDC (兵ブ協) ブロック大会運営委員会	委員長 開発担当役員 委員
2018年	人財開発室室長	
2019年	次世代リーダー育成委員会	委員
2020年	ひとづくり室長	
2021年	監事	
2022年	副理事長 (兵ブ協) 副会長	

公益社団法人 姫路青年会議所  
2023 年度 理事長所信

「超越の起点～次代につなげる物語～」

【はじめに】

現在の日本では、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からひとの行動に制限がされたことで学校教育や文化活動にも影響を与え、社会のあり方や価値観に大きな変化をもたらしました。以前よりも深刻化している少子高齢化社会、新しい生活様式の導入によるひとのつながりの希薄化、労働環境や環境問題に配慮した企業運営、資材不足や原材料の高騰による経済の低迷など、直接的に影響を与える要因が次から次へと迫ってくる今、我々にできることとは何でしょうか。

1957年戦後復興から高度経済成長期へと移り変わっていく中、高い志と強い覚悟を持った44名の先輩諸氏はより良い社会を目指して姫路青年会議所を立ち上げられ、以降66年間にわたり創始の想いを引継ぎ、運動を展開して参りました。姫路のまちでも経験をした高度経済成長やバブル崩壊後の失われた30年、阪神淡路大震災やリーマンショックによる金融不安など社会情勢は今では想像もできないくらい変化していますが、先輩諸氏が連綿と受け継いでこられた青年会議所社会の運動の目的はどの時代でも何ら変化することなく着実に社会を良くする一手を打たれてきました。これからも次代に向けて、会員一人ひとりの意識の変化がまちの大きな成長につながることを自覚し、志同じうする仲間と共に魅力溢れるまちのストーリーを創って参りましょう。

【LOM 運営基本方針】

2018年に開催された「第31回国際アカデミーin 姫路」にて多くの地域団体や行政各所、地元企業、市民の方々のご支援とご協力によって成功裏に終えることができ、姫路のまちを世界に力強く発信し、国際会議を誘致する際のノウハウや課題を習得することができました。しかし、開催から早5年が過ぎ、国アカに関わった多くの会員は卒業され、培ってきた知識と経験の継承が困難になっております。また、2020年にはコロナ禍の影響により計画していた運動を幾度も中止せざるを得ない状況にもなり、会員の成長の機会を提供することが難しい時期も経験しました。

本年度のJCI 姫路は、近年の拡大の成功により入会から3年未満の会員が全体の3分の1を占めております。まちに必要とされる組織であり続けるためには、どんな状況におかれても青年会議所の運動を止めることなく、一つでも多くの機会をつかみ経験を積み重ね組織力を底上げすることが喫緊の課題となっています。そのためには、ひとりの会員が新しい挑戦をすることで小さな変化が生まれ、その小さな変化が周りに影響することで次々に変化の連鎖が起こり、いつの間にか組織全体の成長につなげなくてはなりません。近畿地区大会姫路大会を主管するにあたり、会員一人ひとりが新しいことに挑戦する絶好の機会ととらえ、近畿の各地から集まる多くの会員と共に力強く青年会議所運動を発信して参ります。大好きなまちをより良くするために、刻々と変化する時代の潮流に合わせ、現状に満足することなく明るい未来に向けた一歩先の行動を起こすことで次の世代につなげる魅力あふれるまちを共に創って参りましょう。

【2023 年度重点事項】

1. 次代につながる組織力の向上
2. 次代につながるまちづくり

3. 次代につながるひとづくり
4. 次代につながる LOM の創造

### 1. 次代につながる組織力の向上

青年会議所運動の醍醐味とは、限られた期間で行われる青年の意識を変革するプログラムにあります。個人の意識が変わることで、組織の意識が変わり社会の意識そのものに変化を与える、そんなシステムを持っている団体は我々青年会議所だけではないでしょうか。

大好きなまちをより良くしたい、育ててくれた地域に何か恩返しをしたい、家族や社員が住むまちに貢献したい、そんな若い青年の想いや理想の姿を実現していくために、JCI 日本や各地会員会議所が進めている運動や考え方、プログラムを会員同士が出向者を通し共有し、JCI 姫路として守るべき部分と変えるべき部分を本質から捉え、固定概念に固執することのないよう個々の意識のアップデートを図ります。

そして、これからも発展し続けるために、会員全員が一丸となって我々の理念に共感する次世代のリーダーとなる人材を発掘し、高い志を持った新しい仲間を増やして参ります。JCI 姫路は組織とはどのようにあるべきか常に見直し、次代につながる質的価値を高め続けることで確固たる組織ブランディングを構築して参ります。

### 2. 次代につながるまちづくり

各地青年会議所では、それぞれの地域における災害リスクをはじめ観光客数の減少、経済の低迷、環境問題など、一見誰も解決できそうにない課題に対して、まちのビジョンを掲げ中長期的なまちづくりを推進しております。JCI 姫路は、近畿地区大会姫路大会を通し、近畿地区内の各地青年会議所の会員が集まる場を設え、多くの会員が理念やまちへの想いを共有し刺激しあうことで、それぞれの運動の推進力を高めます。そして、近畿地区大会姫路大会で得た経験を基に、国際会議や展示会を誘致する上で必要とされるまちのあるべき姿を打ち出して参ります。

これまで、自然災害の発生リスクが高まると共に各家庭で命のパスポートを作成するなど市民の防災力を高めて参りました。今後も行政や企業、周辺地域の LOM と連携強化することで、常に備える意識を維持し、発災時に自ら最適な行動を取ることができるよう市民や企業の防災力を高めます。また、未来の子どもたちに残したい環境について産官学が協議し、どのように環境課題に配慮した資源の循環型社会を実現していくか具体的行動を提唱して参ります。

連携中枢都市として抱える地域課題について、新しいアイデアを生かした課題解決モデルが必要とされています。行政や各種団体と連携を図り、誰もが活躍できるまちのあるべき姿に近づけるために、経世済民の考えを基にまちづくりについて協議し、参画いただける各種団体と共に地域に根付く新しい運動の起点を創出します。そして、近畿地区大会姫路大会をはじめ、各種大会においてまちの魅力を発信できる機会を生かし、これからも日本一持続可能な社会を推進する組織として、姫路に住むひとと訪れるひとと笑顔にできる運動に挑戦して参ります。

### 3. 魅力あるひとづくり

現在、姫路のまちにおける子どもたちを取り巻く環境は、社会の変化と共に要求されることが多くなっており、様々な習い事によるスキルアップと共に、ひととの関りから学ぶ多様性を理解した心豊かな人材育成を両立させることが求められています。また、初めて青年会議所の門をたたいた青年たちも同様に、まちのリーダーとして活躍するためのスキルを身につけ、変化の起点をつくることのできる人材育成が必要となっています。熱く使命感にあふれた彼らの想

いや理想の姿を実現していくため、まずは青年会議所とは何かを体験を通して学んでいただきます。そして、その育成プログラムを通じて、同期や先輩とのつながりを感じ、お互いに切磋琢磨していく関係を構築します。

JCI 姫路の培ってきた育成プログラムは我々青年だけでなく、次世代を担う子どもたちにとっても有効なものが多くあります。JC のネットワークとノウハウを生かして、国際感覚豊かで多様性に寛容な人材を育成し、日本や地域への郷土愛を感じ、次代のグローバルリーダーとして自ら考え調べ、主体的に行動を取ることのできる人材育成に積極的に取り組んで参ります。

#### 4. 伝統と誇りある LOM の創造

姫路のまちを主体に活動をしている JCI 姫路は、県下 23 青年会議所の中で唯一、公益法人格を取得している LOM です。この組織をさらに発展させ未来へ引き継いでいくためには、組織のために運動を行うのではなく、常に時代に即した青年会議所のあり方を模索し、ICT の活用など柔軟な対応を可能にし、それぞれの会員の特性に配慮し日々の活動を行いやすい環境を整えられる組織でなくてはなりません。

また、我々青年会議所が日々まちで運動や活動ができるのは、脈々と受け継いでいただいた先輩諸氏や困難な状況におかれても深め続けている姉妹 JC とのつながりがあるからに他なりません。その青年会議所の運動を止めることなく、未来に引き継ぐためには、先輩諸氏や姉妹 JC のつながりをより深め、会員全員が組織の魅力を再確認し、自発的に魅力を発信していく必要があります。熱い思いを持った青年が、一人ひとりの持てる力を余すことなく、最高に挑戦し、JC を通じての出会いに感謝し、おもてなしの心を持って運動を展開していくことで、地域に必要とされ続ける LOM へと導いて参ります。

#### 【最後に】

「安全地帯から一步踏み出そう」私の JC ライフで一番影響を受けた言葉の一つです。JAYCEE はまちのリーダーとして日々、新しいことに挑戦し自己成長を経て課題解決を目指しています。そのためには、今までに経験したことのないことに挑戦するなど、自身の安全地帯の一步外へ踏み出すことが必要です。その瞬間から、今まで感じたことのない感覚に気づき、自身の現状と理想のギャップを知り、その差を埋めるための努力を惜しまなくなります。あなたは青年会議所活動を通して、居心地の良い仲間といつもの場所で活動をしていませんか。話したことのない会員との交流や、初めて事業に参加するなど、小さくても良いので自身の安全地帯から一步踏み出してみてください。必ず新しいものの見方を得ることができ、成長するきっかけとなります。青年会議所の運動の本質は、会員自らが変わり成長することで、組織の成長につながり、その先にまちの成長に発展していく、社会をよりよくするシステムにあります。40 歳までの限られた大切な期間で得られる共に成長した仲間たちはかけがえのない一生の宝物になることでしょう。

わがまち姫路を次代につないでいくために、皆さまのご協力とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。